

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	民法 I	2	新島一彦・小西飛鳥・南部あゆみ	
平成25年度以前	民法入門	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ 民法は、私たちの日常生活に深くかかわる法律です。買い物をする、アパートを借りる、電車やバスに乗る、といった行為は、民法の規定が関係します(財産法)。また、結婚や相続といった家族に関する問題も民法の領域です(家族法)。この授業は、豊富な内容を取り扱う民法の、最初の一步です。全体の構造を把握するための入門科目として位置づけられています。財産法を中心に、私たちが経済活動とどのようにかかわっているのか、また経済活動のルールがどのような考え方のもとに規定されているのかを知ることがテーマとします。そして、①民法の全体像をつかむこと・②民法の基本用語や考え方を理解することを達成目標とします。 なお、この授業は教職の教科科目です。そのため、民法の知識や考え方が、中学・高校教育においてどのような意味をもつのか、という点に配慮した構成とします。				
授業の概要 全15回の講義科目で、テキストに従って進めます。身近な例をとりあげて、民法の基本的な仕組みを解説します。この授業で学んだ基礎知識が、その後の様々な科目に生かされることとなります。しっかりと復習をしてください。また、常に条文を参照します。六法とテキストを毎回使用しますので、必ず持参してください。				
授業計画 第1回:ガイダンス／民法の教育的な意味と必要性 第2回:契約の成立／売買契約 第3回:消費者法／賃貸借契約、消費貸借契約 第4回:履行の強制 第5回:債務不履行 第6回:損害賠償、契約の解除 第7回:契約の有効性1／当事者の能力に問題がある場合(未成年者) 第8回:契約の有効性2／意思表示に問題がある場合(錯誤) 第9回:契約の有効性3／意思表示に問題がある場合(詐欺) 第10回:契約の有効性4／契約の内容に問題がある場合(公序良俗) 第11回:物権と債権 第12回:対抗要件と登記 第13回:不法行為 第14回:家族法 第15回:まとめ 定期試験				
テキスト 今尾真ほか『フレッシュャーズのための民事法入門』成文堂、2014 このテキストは秋学期の「民法Ⅱ」でも使用します。六法とテキストは、必ず持参してください。				
参考書・参考資料等 道垣内弘人『ゼミナール民法入門〔第4版〕』日本経済新聞出版社、2008 山川一陽『財産法入門』学陽書房、2010 円谷峻『民法(放送大学教材)』放送大学教育振興会、2013 授業の内容を深めたり、上記テキストでは足りない部分を補うために、復習・自学用の参考書として位置付けてください。				
学生に対する評価 学期途中で課題を課します。課題30%、定期試験70%で評価します。				

言語

共通

専門基礎

法律一般

政治行政

経営法務

スポーツ福祉

演習

25年度以前

専門基礎科目